

- 教育関係法令
- 小学校学習指導要領
- かわさき教育プラン
- 学校評価
- 学校運営協議会

学校教育目標（めざす子ども像）

ま：毎日元気であいさつする子
が：がんばって約束を守りやりぬく子
た：助け合い 思いやるやさしい子
ま：まじめに進んで学習する子

「生きる力」(①基礎基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自らの課題を見つけ、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力 ②自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性 ③たくましく生きていくための健康や体力)を育むという理念を実現するために、この学校教育目標を掲げる。

学校経営の方針

- 1 川崎市教育振興基本計画「かわさき教育プラン」を受け、将来の望ましい市民形成を図る教育を進める。
- 2 地域に生活する児童の実態に基づき、本校としての教育課題を明確にし、特色ある教育課程の編成に努める。
- 3 児童一人一人の理解に努め、「分かる授業づくり」を土台に、子どもの「居場所」となる学校づくりを目指す。
- 4 本校の歴史や良き伝統を大切にしながら、学校のあるべき姿を追求する。
- 5 学校と家庭・地域双方向の協力関係の構築に努め、地域の教育力を生かした教育活動を進める。

中期学校経営目標（5年目標） → 学校経営の4つの評価領域

| | | | |
|---|---|--|---|
| <p>㊦毎日元気で あいさつする子 生涯を通して心も体も健康であるための自己管理能力を身につけさせる。</p> | <p>㊧ががんばって 約束を守りやりぬく子 自らを律しつつ、他人と協調して物事をやり遂げる達成感を味わわせる。</p> | <p>㊨助け合い 思いやる やさしい子 共に生き、共に育つ環境を通して、共に未来を作る仲間への思いやりの心を育む。</p> | <p>㊩まじめに進んで 学習する子 主体的・対話的で深い学びを実践するための教員の指導力向上を図る。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> • 健康・体力づくりの促進 • 基本的な生活習慣・行動様式の育成 • 災害や緊急事態への対応力の育成 • 計画的な学校施設の整備 | <ul style="list-style-type: none"> • 代表委員会や委員会活動など、児童による主体的な活動の推進 • お互いに気持ちよく過ごせるような「新町スタンダード」の活用 | <ul style="list-style-type: none"> • 人権尊重教育・特別支援教育の推進 • いじめ・不登校等を生まない環境づくりと早期対応 • 多様性を可能性へつなげる意識の醸成 | <ul style="list-style-type: none"> • 自ら学ぶ意欲、考える態度の育成と「かわさき探究2.0」の実現 • 思考力と表現力を育む学習活動 • 教員の指導力向上に向けた研究・研修の充実 • 地域学習の充実 |

短期学校経営目標（今年度の重点目標）

| | | | |
|---|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • あいさつ運動の推進 • 体を動かす気持ちよさを味わう機会の設定 • 自分の命を自分で守る力をつけさせる | <ul style="list-style-type: none"> • 学級の仲間や全校児童のために活動する使命感や活動をやり遂げる達成感を味わわせる • 集団で気持ちよく生活できる力を養う | <ul style="list-style-type: none"> • 自尊感情・他者を思いやる心、児童の主体性への意欲の育成 • 児童が安心できる居場所としての学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> • 児童が学ぶことを楽しいと感じ、分かると実感できる授業の提供 • 児童が本に親しみ、積極的に読書できるような環境づくり • 言語活動の充実 |
|---|--|---|--|

重点に係る具体的な取組

| | | | |
|--|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • あいさつ運動を普段の生活につなげる工夫を児童に考えさせ、実行できるよう支援する。 • キラキラタイムの充実 • 様々な場面を想定した防災・防犯訓練を計画・実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> • 各学級での係活動や学校の委員会活動などを、めあてを意識させながら行う。 • 「新町スタンダード」の日常的かつ効果的な活用を意識して行う。 | <ul style="list-style-type: none"> • 共生＊共育プログラムの有効な活用について、研究推進校として研究する。 • 教職員が、児童が困ったときに相談してみようと思われる存在になる。 | <ul style="list-style-type: none"> • 国語の校内研究に教員が主体的に取り組み、授業の質を上げる。 • 読書の有用性をまず教職員が認識した上で、児童や保護者への働きかけを行う。 • 言語活動を充実させるための仕組みや環境づくりを行う。 |
|--|---|--|---|